

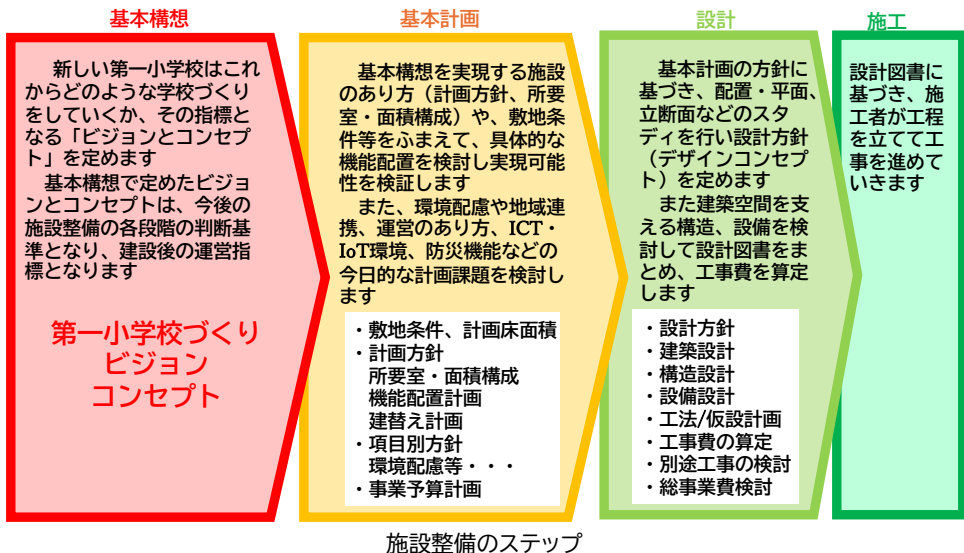
基本構想の背景

改築に至る経緯

令和6年3月に策定された「鎌倉市学校整備計画」に基づき、令和6年度に学校施設整備の優先順位を検討した結果、施設の老朽化の状況や津波浸水想定区域内に立地しているという災害リスクを踏まえ、令和7年度から鎌倉市立第一小学校の全面改築に向けた基本構想の策定に着手することとなりました。

基本構想の目的

基本構想は、「第一小学校づくりのビジョンとコンセプト」を定め、新しい第一小学校がこれからどのような学校づくりを目指していくかを示すことが目的です。今後、基本構想、基本計画、設計、施工というステップで施設整備を進めていき、ビジョンとコンセプトは各ステップにおける検討の際の判断基準となります。



第一小学校づくりのビジョンとコンセプト

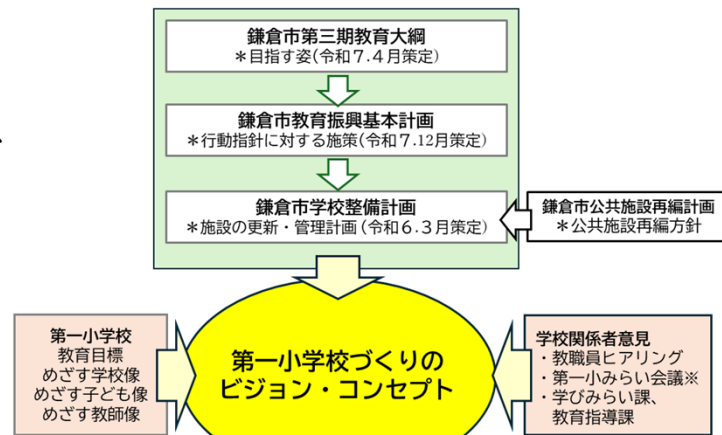
基本構想の位置づけ

教育大綱や学校整備計画に示されている理念、基本方針と、第一小みらい会議(※)や教職員ヒアリングを通して得られた児童や保護者、地域、教職員の想いを参考として、改築を契機とした第一小学校づくりのビジョンとコンセプトを定めます。

ビジョンとコンセプトは、基本計画、設計、建設と続くプロセスを通して、施設のあり方とデザインを決める際の判断基準となるものです。

施設が完成した後は、ビジョンとコンセプトを具現化した建物であることを利用者に伝え、運営の指標にしていきます。

※「第一小学校みらい会議」は、市民参加型のワークショップ。(全3回実施)



鎌倉市立第一小学校 改築工事基本構想

第一小学校の概要

明治26年に尋常由井浜小学校として開校し、令和8年で133年目を迎えました。若宮大路と車大路に面した位置にあり、市内で歴史がある小学校のひとつです。

昭和40年に火災で旧校舎が焼失し、昭和41年の再建以降、昭和54年までに4期にわたる改築・増築工事が行われ、現在の校舎と体育館が完成しました。

昭和48年には鎌倉体育館開設による敷地分割、令和元年の「かまくらっ子だいいち」開設に伴う敷地分割により移転時より校地環境は変化しています。

令和7年の学級数は普通学級が21学級、特別支援学級が3学級となっています。



教育目標 (令和7年度グランドデザイン)

学校教育目標	
自ら光る星になれ つよくやさしい月になれ	
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、行動できる子 ・自他ともに大切に、互いを認め合える子 ・元気に挨拶、笑顔あかるい子
めざす学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学びがある学校(わかる授業・学び合う授業) ・一人ひとりが大切にされ、豊かで健やかな心身を育む学校 ・子どもの成長を支える学校 ・地域に開かれた地域と共にある学校
めざす教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・教師として高い自覚と使命感 ・豊かな人間性と社会性 ・確かな児童理解と指導力

ビジョンとコンセプト

「子どもが主役の学校づくり—地域と先生の月光のような愛情に包まれ、一人ひとりの学びがキラキラ輝く—」をビジョンとします。ビジョンの土台には「共生」があります。

ビジョンは以下の5つのコンセプトにより実現の方向性を定めます。「学習者中心」「協働」「多様性の包摂」「安全・安心」「継承と創造」

図は、旧鎌倉町の町章を受け継いだ第一小学校の校章「星月」にビジョンを重ね、5つのコンセプトは方向性を表すコンパスに見立てて表現しました。



第一小学校づくりのビジョンと5つのコンセプト

5つのコンセプト

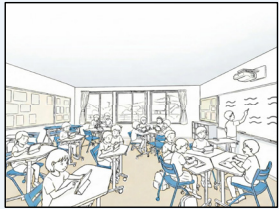
5つのコンセプトに込められた考え方とそれを実現するイメージスケッチを例示します。

※イメージスケッチはコンセプトを具現化した場合の例であり、具体的な検討は令和8年度以降の基本計画や設計の中で行うものとなります。

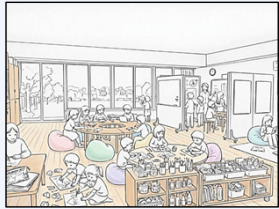
(1)学習者中心 子どもが自らハンドルを握りながら学びを展開できる環境

何を、どのように、どこで、誰と学ぶかを、学習者が自ら考え、選び取っていくような、学習者中心の学びができる環境を目指します。

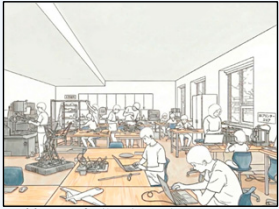
授業の場面だけでなく、休み時間や放課後の時間にも学びがあるような、挑戦心や探究心を育める環境を整えます。



活動の自由度が増す教室



「ワクワク」を引き出すオープンスペース



最新の技術で創作活動ができるFABラボ

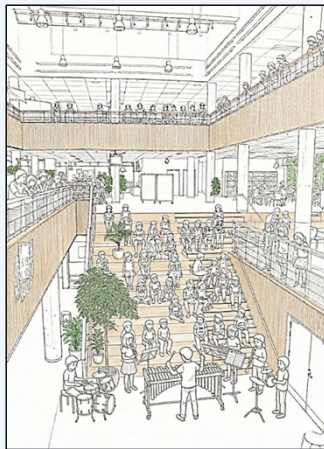


色々な運動に挑戦できるアリーナ

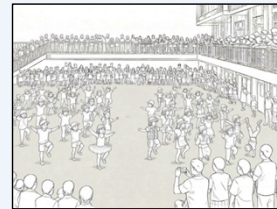
(2)協働 世代や立場を超えて、つながりを育む協働空間

他学年や保護者・地域の方々とも協働しながら、教科横断的で多様な学びを生み出すことのできる環境を目指します。

教職員間の連携や、学校と保護者・地域との協働など、立場を超えたコラボレーションを生み出せる環境をつくります。



みんなと出会う交流ホール



地域合同のイベントの場となる校庭



地域住民も寛げる交流ラウンジ

(3)多様性の包摂 一人ひとりが包摂され、自分らしく過ごせる環境

一人ひとりの特性や興味・関心が尊重され、誰一人取り残されることなく包摂される学校を目指します。子どもたちの困り感にも寄り添い、学び方や居場所が選べるような環境をつくります。

一人ひとりが物理的にも心理的にも安心して過ごせるように、バリアフリーな教育環境を目指します。



色々なコーナーがある特別支援学級



気分転換が図れる小空間



一緒に移動できる動線



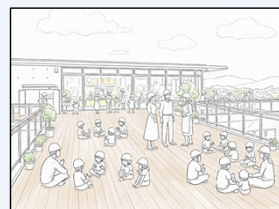
落ち着いて過ごせるカウンセリングルーム

(4)安全・安心

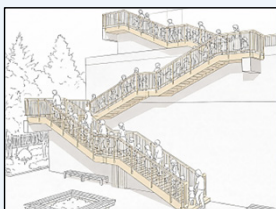
子どもも大人も心地よく過ごせる安全・安心な居場所

新しい学校施設は地域の防災拠点としての役割が期待されています。必要な機能を用意し、地域の安心を支える施設を目指します。

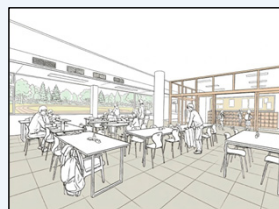
合同防災活動を行うなど学校や行政と連携を高め、共助の備えを整えることで非常時に施設をスムーズに避難所として利用できるようになります。



津波災害時に活用できる屋上テラス



スムーズに屋上避難ができる校舎



玄関やアプローチの様子が見える職員室

(5)継承と創造

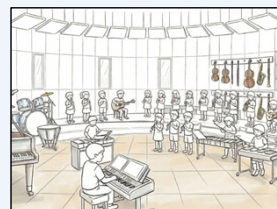
一小的自然や鎌倉の文化遺産、人材を活かし、新しい文化を創造する活動拠点

鎌倉ならではの子どもたちの学びを豊かにし、出会いや発見が生まれる機会となる力を備えています。

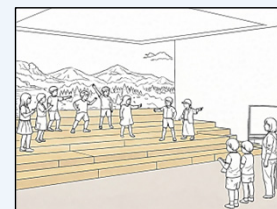
こうした教育資源を最大限活かし、遺産を継承し、新たな文化が生み出される活動、第一小学校ならではの教育資源は拠点を目指します。



自然に触れられ、体験的に学べる自然園



音楽の世界に浸れる音楽室



自分たちの表現を生み出す舞台

複合化の検討

隣接する公共施設等との複合化により地域に開かれた学校とするため、それぞれの施設や機能のあり方等について検討が必要となります。



鎌倉体育館



放課後かまくらっ子だいいち

(参考) 第一小学校に隣接する公共施設

スケジュール

令和8年度に基本計画を策定し、令和9年度から設計に着手する予定です。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基本構想の策定	→					
基本計画の策定		→				
基本設計			→			
実施設計				→		
工事					→	→

※イメージスケッチは生成AIで作成しています。